

大竹手すき和紙プロジェクト

プロジェクトテーマ

広島県大竹市で400年受け継がれてきた伝統の技でつくられる大竹手すき和紙を取り上げ「大竹手すき和紙の伝統技術継承と活用」をテーマとした教育研究活動。

プロジェクトの取り組み

上記のテーマをもとに、実際に和紙作りを原料づくりから経験することで和紙の製造方法や和紙作りの発展や歴史について学ぶとともに、保存会の方々と地域の方との交流を通じて和紙の良さを実感し、今後の和紙の活用法について探究していった。最終的にはプロジェクトに取り組んだ学生が和紙の活用方法を考案し制作した作品や和紙の素材感を生かした作品を制作し、成果作品展にて発表した。



活動の流れ



6月
座学講義
コウゾの苗の植え付け



7月
コウゾの栽培
芽かき実習



8月
コウゾの釜煮
小型和紙手漉き実習



11月
大型和紙漉き実習
乾燥（ヒーター・板干し）



12月
コウゾの刈り取り実習
コウゾの釜蒸
コウゾの皮はぎ実習

1月
小型和紙漉き試作
（百合の種等漉き込み）

2月 成果展「和紙と私の日常」の開催

これまでの活動の成果の発表及び大竹和紙を広める目的に、作品展を企画し開催した。自身で制作した和紙等を用いて作品を制作し、作品展にて発表した。

